年明けに考えたこと

新型コロナの新規感染者が1,300人を超えた状況で年が明けた2021年。あいさつ回りも自粛したので、「逃げるは恥だが役に立つ」2019年に放送された本編の再放送と、その続編を夫と観ました。

同名の漫画が原作です。「小賢しい」、「かわいげがない」と言われ、それがコンプレックスにもなっている主人公を通じて、女性を取り巻く実態や、性的マイノリティーの方たちが置かれている現状など、さまざまな社会問題を描いています。

「出産、子育てをサポートする」という夫に「サポートじゃなくて、一緒に責任を担って」と訴える主人公の言葉は、私自身の思いともダブります。「あなたは、子どもたちのご飯の心配をしながら仕事をしたことないでしょ」と夫に何度言ったことか。

箱根駅伝で、大逆転で優勝した駒澤大学の監督が、レースの最後に選手を奮起させたのが、「やったよ、お前は男だ」という言葉。この監督が女子チームの監督だったら、一体選手に何と声をかけるのだろうか、という違和感が否めませんでした。「男らしさ」「女らしさ」の枠を取っ払って、誰もが「その人らしく」生きられる社会を、作っていきたい。今年は、その大きな一歩を。

よつぎ療育園の現状を改善して！

葛飾区肢体不自由児者父母の会が和泉文書質問を引用して葛飾区長に要望

葛飾区肢体不自由児者父母の会（会長・住谷道子さん）はこのほど、青木葛飾区長あてに「よつぎ療育園に関する報告書」を提出して、現状改善への対応努力をもとめました。

会の報告書は、そのなかで和泉なおみ都議が去る九月都議会で行った文書質問を、つぎのように引用・紹介して区の理解をもとめました。

「東京都議会議員和泉なおみ氏は、当会の会員を通し、よつぎ療育園通所者とその家族の状況を知り、九月の東京都第三回定例都議会に『コロナ禍で最も弱い立場の人たちに、しわ寄せしたまま放置してよいのか』『代替の通所環境を確保するなどの解決に力を尽すこと』『もともと狭隘な施設であるよつぎ療育園を早期に移転・改装する事』を内容とした文書質問を提出されたことを報告します。葛飾区におかれましても、よつぎ療育園の現状をご理解の上、ご対応くださるようお願い申し上げます」

コロナ禍を弱者にしわよせしたまま放置するな！

よつぎ療育園は、医療的ケアが必要とされる重度心身障害者に対して診療と通所を一体で支援する施設です。

区内東四つ木五丁目の20階建て都営住宅の一階部分にありますが、もともと狭いうえに新型コロナ感染防止のために、一定の距離を保つ必要が生じ、通所利用者の数を制限しました。

このため週四日通えていた人は、週二日しか通えなくなり、介護する家族の負担増もたいへんなものになりました。

和泉都議の文書質問は、この現状を至急改善するよう求めたものです。

しかし十二月議会で出された都の回答は「保護者の負担がこれまで以上に重くなっていることは認識している。しかし利用者の安全を最優先に考えて事業を継続していく必要があると考えている」というきわめて不充分なものでした。

父母の会の和泉都議の文書質問を引用した区長あての「報告書」は、コロナの犠牲を最も弱い立場の人にしわよせしたままの都の責任追及を、和泉都議だけにまかせないで、葛飾区長もともに動いてもらいたい、という叫びのようです。

和泉都議はひきつづき今年の第一回定例都議会でもこの問題をとりあげる予定です。

日本共産党都議会議員 **和泉なおみ**の

生活・年金・法律相談

2021年2月10日(水)午後2時より

事前にお電話ください

場所　和泉なおみ事務所